

世界の生食用ブドウ業界 2024年の予測

FreshFruitProtal 2023年12月11日

ブルームフレッシュ社(英国の果樹育種会社)の経営陣が、世界の生食用ブドウ業界にとって2024年がどのような年になるかについての見通しを共有した。

ブルームフレッシュ社のCEO兼国際営業部長であるケネス・エイブリー氏は、サプライチェーンの問題は緩和されるだろうと述べている。今年は、世界のサプライチェーンと輸送網の問題により、物流面で困難な年であった。しかし、これらの圧力は緩和され、投入資材価格と運賃は全般的に低下すると予想される。

同氏は、「この傾向によって(価格が低下し)生食用ブドウに対する消費者の需要が高まるにつれて、世界中の出荷業者や生産者は取組みを拡大する誘惑に駆られるだろう」と言う。

地域別の輸出の見通し

エイブリー氏によると、ペルーは引き続き世界の生食用ブドウの輸出をリードし、出荷期間を延長し、北米向けの高品質の種無し緑色ブドウに力を入れると見られる。

また、チリの輸出は、従来に比べて少なかった前シーズンの数字と比較して改善すると予想される。長引く干ばつや破壊的な豪雨等の何年も続いている厳しい気象条件と、人件費や物財費の高騰による経済的圧力にもかかわらず、この地域の生産者は慎重ながらも楽観的な見方を示している。成長の原動力は、品質の向上、強固な業界関係、新しい品種の導入可能性や市場機会等であり、これらが相まって、拡大の見通しを説得力のあるものにしていく。

南アフリカとオーストラリアでは、ブルームフレッシュ社が開発した品種の収量と品質の高さがチャンスを提供している。スイートセレブレーションは南アフリカで、スイートサファイアとスイートグローブはオーストラリアで有望視されている。

新品種

ブルームフレッシュ社の国際ライセンス担当ディレクターであるジェニファー・マグワイア氏は、2024年の生食用ブドウの新品種は「驚きと喜び」をもたらすだろうと述べている。

生食用ブドウ部門は、大幅に改良された品種の提供によって前進しているが、この分野に課題がないわけではない。世界中の深刻で不安定な気象現象は、カリフォルニア州とペルーの生産量に影響を与えた。

とはいえ、生食用ブドウの市況は好調で、近年に比べて大幅に改善しており、2023年後半にはブドウの供給が減少し制約されたため、平均価格が上昇した。

マグワイア氏によると、ブルームフレッシュ社は生食用ブドウ部門で、より健康的で味の良い品種を開発する取り組みを主導している。コモディティ化の潮流に逆らうことでよく知られている同社は、最も多様な風味のブドウ品種を有している。

コットンキャンディー™品種とイチゴ風味のキャンディースナック™品種は、消費者を惹きつけ、商品に付加価値を与えるために開発された。これは、同社のこれまでの成功を土台に、健康食志向のトレンドに沿っている。

同社は、ブルーベリーをも上回る抗酸化力を持つブドウなど、いくつかの新品種を開発中である。

マグワイア氏は、「市場は全体的に楽観的で、ブドウ園への投資、古い品種の改植及び消費の増進への関心を新たにしている」と言う。

訳注: この翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。